

高崎観光協会 会報

縁起のいいまち
高崎

春号
Spring
VOL.146

2019

機関車が今も息づくまち

架線注意

C6120

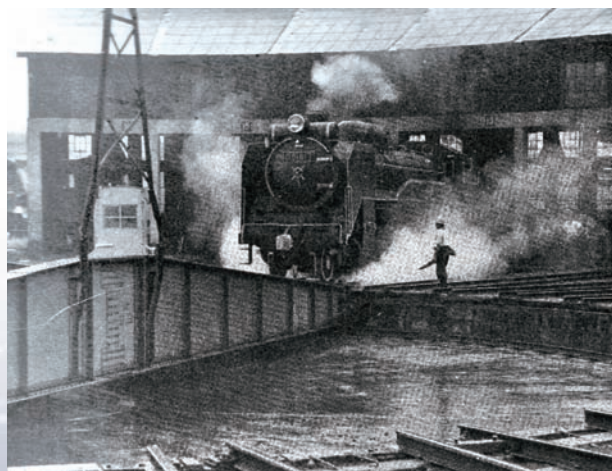


旧型客車を牽引▶



◀高崎車両センター高崎支所の機関庫と転車台

機関車が今も息づくまち



高崎管内で機関車が現役で働いていた時代の転車台と機関車

時代と共に蒸気機関車の姿が日常から消えて久しいが、高崎駅では週末や行楽日ごとに、機関車が運行されている。上越線・高崎駅―水上駅間、信越本線・高崎駅―横川駅間の2つの路線を「D51 498」と「C61 20」の2台のSLが走っている。

出発を知らせる汽笛が高らかに鳴ると、車体から水蒸気と煙が勢よく立ち上り、^{くろがね}鐵の車体がゆっくりと動き出す。懐かしい哀愁をたたえながらも、力強く未来を切り拓く生き物のようで、その雄姿に目が釘づけになる。



火と水で走る漆黒の生き物

高崎駅の機関車専用ホームは2番線。乗車気分を盛り上げるように、エスカレーターやホームの壁面はSLの写真で彩られている。折角の機会なので30分程余裕をもってホームに入れば、SLの入線や連結作業を見学できる。

まず、客車が後ろからディーゼル車に押されて入線すると、少し遅れて機関車が進行方向から後ろ向きでホームに登場し、客車と連結する。

SLが牽引する客車には、「旧型客車」と「12系客車」がある。「旧型客車」は1955年～1965年以前に製造された客車の総称で、木製の内装を残したノスタルジック

クな雰囲気の魅力だ。暖房はSLの熱源を使った蒸気暖房を用いるが、冷房はない。一方、ブルーの車体が印象的な「12系客車」は、1970年開催の大阪万博等を契機に増加した旅客に対応するため造られた。初めて冷暖房装置や自動ドアが採用されるなど、その後の国鉄客車のモデルとなった。

いよいよ出発の時刻。約8tの重量感のある黒い軀体から、吹き出す蒸気と汽笛の音圧が一段とパワーアップする。その振動が地響きのように周囲の人の体を震わせ、白い蒸気が視界をさえぎる。その迫力たるや圧巻で、軽・薄・短・小が進むスマートな現代のものづくりにあって、人間の手が作り得た動力の最高傑作のように思えてくる。まさしく高崎で機関車は生きています。

機関車を動かす

熟練技の「ハーモニー」

出発した後もボイラーの圧力を保つために投炭を続けるのは運転士焚火担当の仕事で、石炭の量やタイミング、火室の中の投げ入れ場所などを瞬時に判断する技術



今年6月まで開かれるブレDC（群馬ブレスティネーションキャンペーン）。そのオープニングセレモニーとして行われた「SLぐんま みなかみ」の出発式

が必要となる。

一方、運転士はスピードを調整するためにハンドルを操作し、送る蒸気量を加減する。駅に着く前には正しい位置や時間に止めるよう、アクセルやブレーキを操作するという熟練技が求められる。運転士同士のコンビネーションが欠かせない。

機関車がまだ現役で走っていた頃、高崎機関区には、山寺源吉という頑固一徹で気難しい熟練機関士と、優柔不断な丸山咲平という機関助手がいた。ふつかり合いながらも互いに心を開いていく。昭和40年に公開された映画『喜劇各駅停車』の中の話だ。源吉を森繁久彌、咲平を三木のり平が演じ、喜劇駅前

シリーズの井上和男監督が人情ドラマに仕上げた。

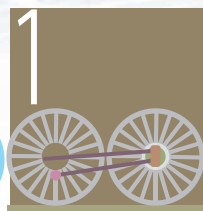
この原作は、元高崎機関区の機関士で俳誌「あさを」を主宰した清水寥人の『機関士ナポレオンの退職』で、第50回芥川賞候補となった。田辺聖子に1票差で敗れて芥川賞は逃したが、NHKドラマ、映画と立て続けに作品化された。

映画では機関士として37年間の勤めを終えた源吉が、機関車を格納庫に入れ、長い汽笛を鳴らす。その音は、源吉との別れを惜しむ機関車の嗚咽のように響き、演じる森繁のほおに涙が光った。

時代は移り職種名も変わったが、息の合った運転士同士の物語は今も高崎で紡がれている。

さあ高崎駅発SLの旅に出かけよう

上越線SLで水上駅へ



転車台



駅長さんとおいでちゃん
と記念撮影



道の駅水紀行館

の改札を出ると駅長さんと水上温泉のキャラクター「おいでちゃん」が出迎えてくれる。駅周辺で食事やお茶をするのもよし。利根川周辺を散策したり、温泉でいやされたりするのもよし。また、みなかみ観光周遊バス「わくわく号」を利用して見どころスポットを巡るのもおすすめだ。

水上駅に向かう上越線SLの旅は、片道2時間ほど。時速60km程度のゆっくりとしたスピードで、気分もゆったり。窓を開ければさわやかな風を肌を感じ、沿線で手を振る人々の温かさに触れる。途中の渋川駅で

25分ほど停車したときが、絶好のSL観察タイム。終点・水上駅には転車台があり、客車を切り離れたSLの方向転換と車両整備の様子を間近で見ることができ。帰りの時間までは3時間ほど。駅

利根川上流の渓谷美、温泉郷を満喫



諏訪狭

ホテルメトロポリタン高崎の『D51 498』ルーム

「D51 498」のプレートが掲げられた特別なブラックの扉。室内はD51形蒸気機関車498号機の原寸大の壁紙が3方を囲み、機関車の存在が迫ってくる。「荷物室」と表示されたクローゼットの中は、整備センターで収納されている工具類の壁紙が貼られ、バスルームはSLのフォトギャラリーになっているなど、随所にD51 498を感じさせる工夫が散りばめられている。そして検修シーンや出庫、出発シーンなど貴重なオリジナル映像を高音質、大画面で楽しめる他、運転台内部や車体下など360度体感できるコンテンツもある。また、この部屋の窓からはSLの出発ホームを見下ろせ、9時56分発の水上行きD51に乗車する場合、約30分前に窓からSLの入場を確認してチェックアウトする宿泊客も多いという。

■ホテルメトロポリタン高崎
高崎市八島町222 TEL. 027-325-3311

SLの旅のお供は駅弁



だるま弁当



峠の釜めし

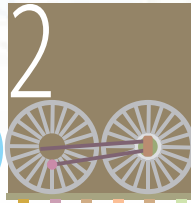


上州D51弁当

郷愁を誘うSLの旅には、懐かしい味を今に伝える駅弁が欠かせない。昭和30年(1958)に荻野屋が「あたたかくて家庭的な楽しいお弁当を」と益子焼の土釜を容器にした『峠の釜めし』を発売。昭和35年(1960)には高崎弁当が、高崎名物のだるまの容器に少林山達磨寺の精進料理をイメージした具材を盛り込んだ『だるま弁当』を発売。以来、高崎駅の看板駅弁としてどちらも人気。近年では、蒸気機関車の運行日にD51形498号機をモチーフにした『上州D51弁当』が限定販売されている。

鉄道の歴史を見て触れて体感する旅へ

さあ高崎駅発SLの旅に出かけよう
信越本線SLで横川駅へ



信越本線のSLの旅は終点・横川駅までは約1時間。高崎駅を過ぎると右手にいくつもの峰が連なる榛名山、松井田駅を過ぎた頃に妙義山の雄姿が現れるなど、車窓からの風景も楽しみみの一つ。信越本線の横川駅〜軽井沢駅間は、初のアプト式鉄道の導入や日本初の幹線

電化など日本の鉄道史に大きな足跡を残したところで、周辺にはさまざまな見所がいっぱいだ。1997年に横川と軽井沢間が廃線になり誕生した「碓氷鉄道文化むら」は、当時の線路や建物をそのまま利用したリアル感が格別。懐かしい車両や珍しい車両が



鉄道文化むら



旧丸山変電所



碓氷関所跡

この辺りは古代からの交通の要衝で、中山道の「碓氷関所跡」や「坂本宿」など江戸時代の宿場情緒が味わえる。

展示されるなど、鉄道の歴史に楽しみながら触れることができる。また、廃線敷を利用した遊歩道「アプトの道」は、旧変電所、トンネル、めがね橋などの鉄道遺産を巡ることができ興味深い。そして、この道に並行して、「ふんかむら駅」から「とうげのゆ駅」まで片道20分程の距離をトロッコ列車が走っているの、こちらも乗ってみたい。



トロッコ列車

好きな人にはたまらないこだわりがいっぱい



D51498 ROOM

ボランティアのおもてなしも熱い 人気のヒルクライム

第7回 榛名山ヒルクライム in 高崎

5月18日(土)・19日(日)

5月18日(土)

●タイムトライアルレース：10時～12時(榛名湖畔)

5月19日(日)

●ヒルクライムレース：7時～13時10分(高崎市榛名支所前～)



※参加者募集は締め切っています。
最新情報は公式ホームページを
ご覧ください。
<http://www.haruna-hc.jp/>

※当日は交通規制があります。
観戦は交通規制前にコース沿線の
ポイントへお越しください。

人情味の魅力を発信している。
が多く聞こえ、榛名地域の自然や
や応援が有り難かった」という声
る。参加者から「地域のもてなし
上のボランティアに支えられてい
また、この大会は1000人

大会のゲストはヒルクライム界
のレジェンド藤田晃三選手とヒル
クライム界の「山の神」森本誠選
手。「ハルヒルは本格的なタイム
トライアルと変化に富んだヒルク
ライムの両方を楽しめる魅力的な
大会」と太鼓判を押す。

新緑が輝き爽快な風が肌に気持
ちのいい榛名地域で、今年も熾烈
な自転車レース「ハルヒル」が繰
り広げられる。5月18日は、榛名
湖畔6・8kmを疾走するタイムト
ライアルレースが行われる。15秒
おき1人ずつのスタートとなる。
そして、翌19日は、榛名支所前か
らスタートして榛名湖方面へ向か
うヒルクライムレースが実施さ
れ、初心者コース(6・7km)、
榛名神社コース(11・6km)、榛
名湖コース(16・1km)と、脚力
に応じた3コースがある。特に榛
名湖コースは最大勾配14%とい
う過酷な坂への挑戦がヤマ場。

大会のゲストはヒルクライム界
のレジェンド藤田晃三選手とヒル
クライム界の「山の神」森本誠選
手。「ハルヒルは本格的なタイム
トライアルと変化に富んだヒルク
ライムの両方を楽しめる魅力的な
大会」と太鼓判を押す。

また、この大会は1000人
上のボランティアに支えられてい
る。参加者から「地域のもてなし
や応援が有り難かった」という声
が多く聞こえ、榛名地域の自然や
人情味の魅力を発信している。

●お問い合わせ：榛名山ヒルクライム in 高崎実行委員会 (榛名支所地域振興課) TEL.027-374-6715

EVENT
EVENT

抱腹絶倒シーンがいっぱい

吉井どろんこ祭り 2019

6月2日(日)

●10:00～13:00(雨天中止)

●吉井町多比良(県道41号神田吉井線沿い)

●参加料：無料

●簡易シャワー&簡易更衣室 &
仮設トイレ完備



昨年の企画「どろんこウエディング」

オリンピック
「どろんこ運動会」の競技に
参加希望の方は、市のホーム
ページより5月30日までに
申し込みが必要です。なお写
真撮影OKの人に限りです。



前日の6月1日(土)10時～12時
開催の『どろんこ国際バレーボール
大会』には、中学生以上・1チーム
5人以上で結成された48チームが
参加(参加申し込みは5月9日ま
で)。こちらもお楽しみに。

また、会場では、ヨーヨーすくい
や綿菓子を提供する「どろんここ
もランド」、舞踊・演奏が行われ
る「どろんこ劇場」、飲食を提供す
る「どろんこ市&食堂」が開かれる。

こんな機会はめったにない。田植
え前の水を張った田んぼの中で、ど
ろんこさんまゐい。
自然に親しみながら親子の絆を
強めることを目的に2003年から
開催されてきたイベントは、今年で
16回目を迎える。『どろんこ運動会
(オリンピック)』が行われ、「手つ
なぎ親子リレー」「ウナギつかみ取
り」「父ちゃん母ちゃん別しろかき
走」「どろんこ踊り」などの競技が
繰り広げられる。

また、会場では、ヨーヨーすくい
や綿菓子を提供する「どろんここ
もランド」、舞踊・演奏が行われ
る「どろんこ劇場」、飲食を提供す
る「どろんこ市&食堂」が開かれる。

●お問い合わせ：高崎市吉井支所地域振興課 TEL.027-387-3111

食べて、飲んで、散策して、 まちなかを丸ごと楽しむ

高崎バル



新しい店、新しい味、新しい出合い。
気になっていたお店をこの機会に利
用してみよう。

近年は市外や県外からのビジター
も増え、高崎バルの機会に、駅周辺
の商業施設の充実等でより都会的に
なった高崎の街でショッピングや散
策を楽しんでいる。

まちなかの飲食店の祭りとして、
すっかり定着した高崎バル。今回の
参加店舗は92店舗。前回よりさらに
パワーアップして、飲食の楽しさを
提供する。高崎バルののぼり旗を掲
げた飲食店なら、チケット1枚でワ
ンドリンク+ワンタパス(小皿料理)
のお手軽感、お得感を味わえる。パ
ルの1週間は、5枚つづりのチケッ
トとガイドマップを片手に、目的の
飲食店を探して、ちよい飲み、ちよ
い食べ”をしながら街歩きを楽しむ
人で賑わう。

●お問い合わせ：高崎バル事務局（高崎商工会議所内）TEL.027-361-5171

高崎バル 2019 初夏

6月3日(月)～9日(日)

- 中心市街地（まちなか）
- チケット販売所：アートマルシェ（市役所 21F）
ホテルメトロポリタン高崎、高崎商工会議所ほか
- 前売り券：3,000円（当日券：3,500円）

榛名の自然の恵みがドライフルーツに



●「柿」のドライフルーツ

榛名産の柿の甘みを濃縮し、ソフトド
ライに仕上げた人気商品。干し柿とは
また一味違った、しっとりとした食感
と上品な味わい。

甘さが控えめで、日本酒や焼酎など、
つまみとしてもオススメです。ちょっ
とした外出や旅のお供に最適！
(榛名倶楽部) 一袋 580円

品、二つをご紹介します。

美しい自然に囲まれ、
豊富な湧き水、長い日照
時間、水はけのよい土壌
に恵まれている榛名町。
その榛名の大地で大切
に育てられた果実の美味
しさを、ひと口サイズに
閉じ込めた人気のドライ
フルーツ。ひと噛みすれ
ば、甘みと旨味が口いっ
ぱいに広がってくる。



●「和梨」のドライフルーツ

榛名地区限定の「はるな」という品種を使った商品。
ザクザクとした食感で、噛めば噛むほど甘みが増
すのが特徴的。生ハムやベーコン、ナッツと共に、
ワインで楽しむのもオススメです。無添加、無着色
であり、子供のおやつとしても、安心できる商品。
(榛名倶楽部) 1袋 580円

高崎じまん (高崎オーパ1F)

高崎市八島町 46-1
電話：027-381-6967
営業時間：8:00～21:00
休業日：なし

TAKASAKI ARENA

高崎アリーナ

5月～7月の主なイベント



- チアリーディングアジア大会 5/11(土)・12(日)〈観覧有料〉
- 全日本新体操ユースチャンピオンシップ/男子新体操団体選手権 5/24(金)～26(日)〈観覧有料〉
- 全日本実業柔道団体対抗大会 6/8(土)・9(日)〈観覧無料〉
- 全日本体操種目別選手権 6/21(金)～23(日)〈観覧有料〉
- アジアダンススポーツゲームズ 7/6(土)・7(日)〈観覧無料〉
- 一輪車全国大会 7/14(日)〈観覧無料〉

●お問い合わせ：高崎アリーナ TEL.027-329-5447

ロケ地を訪ねて 『家族のレシピ』編

名監督が切り取った高崎の風景

●食卓を囲む笑顔が恋しくなる

シンガポールと日本の外交関係樹立50周年を記念して制作された映画『家族のレシピ』。シン



高崎市下滝町にある慈眼寺のしだれ桜と女優ジネット・アウ

ガポール人の母と日本人の父を持つ真人が、父の死をきっかけに、断ち切られた家族のきずなを再生すべくシンガポールに渡り、両国のソールフードともいえるバクテーとラーメン

を融合させた「ラーメン・テー」を完成させていく。子どもの頃に舌と心に刻まれた食べ物との記憶から、自身のルーツをたどる物語となっている。

日本では高崎が舞台となった。冒頭から田園地帯を走る上信電鉄、複数の峰が屏風を広げたように連なる榛名山をバックに烏川と碓氷川が出合う市庁舎から望む風景。小さな飲食店が軒を並べる通町の路地などの馴染みの風景が、シンガポール

映画界の第一人者で世界的にも評価の高いエリック・クー監督によって切り取られ、よそ行きの顔でスクリーンに映し出された。

●土産の包みの中は？

斎藤工が演じる真人が、松田聖子演じるシンガポール在住のフードブロガーに、「高崎土産」と包みを渡すシーンでは、絵本『モチモチの木』で知られる滝平二郎の切り絵が印刷された包装紙が一瞬映し出される。これが何かわかる人がいたら、なかなかの高崎通だ。

その中身とは、中央銀座通りと白衣観音の参道に店舗を構える老舗の和菓子屋「観音屋」の『観音もなか』。観音様の形を模した可愛らしい最中で、しっとりした皮の中に小豆餡・ゴマ餡がぎゅっ詰まっている。

「映画を観て懐かしくなった」と来店した人から、映画の「出演」を知らされたという店主は、「映画の製作スタッフに気に入っていたいたのは承知していたのですが、まさかこんな形で映画に登場するとは」と嬉しそう

だ。先代が売れない時代の滝平二郎を援助したことから、作品を使用する権利を特別に得たという。

●滝の慈眼寺の枝垂れ桜

バクテー、チキンライス、チリクラブと湯気の立つ食に圧倒され、食欲が膨らむシンガポールのシーンに対し、高崎のシーンでは桜の映像が印象的だ。日本人との結婚を非難され傷心を抱えて高崎にやってきたジネット・アウ演じるメイリアンが、「苦しみが多い者にとって自然の美しさは天然の良薬」と散策するシーンでは、『滝の慈眼寺』の枝垂れ桜が際立って美しい。余命いくばくもない彼女が放つ最後の輝きと相まって幻想的だ。

●ラーメン・テーを実食

『家族のレシピ』の高崎での上映を機に、高崎オーパ7階のCAFÉ高崎じまんでは、究極のレシピ「ラーメン・テー」を再現し期間限定で提供した。薬膳の香り豊かな鶏ガラスープに、高崎産や県産の食材にこだわった細麺、味卵、豚スエアリブ、ネギなど。優しい味わいながら、ブラックペッパーが効いた元気フードに仕上がった。映画鑑賞のメに実食することで、4D映画なみのリアル感も味わえた一作となった。

※「ラーメン・テー」は好評につき、現在もCAFÉ高崎じまんにて提供中

